

令和8年度“うつくしま、ふくしま。”環境顕彰受賞者一覧

No.	区分	管内	個人・団体名	顕彰理由	写真
1	団体	県北	あづまやましぜんくらぶ 吾妻山自然倶楽部 (会長 清野 義美)	<p>平成15年の設立以来、ボランティアの募集、他山岳団体への呼びかけを行ったうえで、傷んだ登山道修復や、刈り払い、植生復元を実施するとともに、登山者への啓発活動、地元小学生への登山ガイドを行っている。</p> <p>荒廃裸地化した植生の復元においては、長年の継続した取組により、徐々に植生が復元された箇所が多くあり、これらの取組をボランティアで実施してきた功績は大きく、他の山岳団体の模範となる活動である。</p>	
2	団体	会津	ふくまこうつう かぶしきかいしゃ あいづしや 福島交通株式会社会津支社 (取締役副社長兼会津支社長 佐藤 俊材)	<p>2019年5月に電気バスを3台導入して、グリーンシーズンは尾瀬のシャトルバスとして運行し、冬期間は会津若松市内にて運行している。また、2023年10月には、さらに小型電気バスを3台導入して、通年で会津若松市内にて運行しており、二酸化炭素の排出削減に寄与している。</p> <p>これらの電気バスのPR活動を通じて、バス自体の利用促進や環境意識の啓発活動に積極的に取り組んでおり、「公共交通×脱炭素」の優れたモデルケースとして、地球温暖化防止と持続可能な地域交通の実現に貢献している。</p>	
3	個人	県北	なんば としこ 難波 敏子	<p>荒井地内の病院や小学校、大型工場などが集積しているフルーツライン沿いや、自宅周辺の市道沿いなど、広範囲にわたって除草やゴミ拾いを行うとともに、花などの植物を植栽するなど、長年にわたり地域の環境美化に貢献している。</p>	